

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒111-91
東京都浅草郵便局内
私書箱119号
TEL 03-3625-7307
発行責任者
運営委員長 宮戸征美

郵便振替口座
東京 5-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

教訓生かし 万全な体制を

骨髄移植のドナー事故報道される

事故の概要

二年前の十一月に、都立駒込病院の血縁者間の骨髄移植でドナーに重大な事故があったことが、八月五日のマスコミで報じられ、関係者に大きな衝撃を与えました。

これに先立ち、この情報を知った全国協議会は、七月九日に厚生省へ下記の要請を行うと共に、顧問弁護士の方から提言をいただき、七月二六日に緊急代表者会議を開き、その後も公的骨髄バンクの本格的な稼働に向け、万全な体制が図られるよう厚生省・財団に対し働きかけを強めてきました。

事故後の病院の対応

▼九〇年十一月、都立駒込病院で発生▼三五才の一卵性双生児の弟が兄に骨髄液を提供する採取時に起きる▼術前検査は二回実施▼スタッフは六人の医師(化学療法科二名、血液内科三名、麻酔科一名)と二名の看護婦▼麻酔は下半身をマヒさせる腰椎麻酔▼骨髄液を約八九〇cc採取▼採取直後(終了一分後)血圧が急激に低下(四八に)▼脈も遅くなる状態が十五分間続く▼緊急蘇生術により十五分後に血圧はほぼ正常値に戻った意識は回復せず▼提供者はその後も意識は戻らず、九二年八月に死亡▼被提供者は提供後回復したが、九一年十一月に再発し、九二年六月に死亡

▼病院内の究明委員会と外部専門家による調査結果は、何らかの原因による特異な神経原性ショック(注1)及びそれに続く高度の無酸素性脳症(注2)と判断▼事故後、骨髄移植に関しては腰椎麻酔は行っていない。

(注1)神経原性ショックⅡ
副交感神経が異常な刺激を受

骨髄移植推進財団の対応

①配布済みのパンフの内容の一部をシールで修正し「麻酔による死亡例はありません」の内容を「麻酔による事故は、ごくわずかとはいえ、一定の確率で起こる可能性があります」

②ビデオについては補足説明を行い、早急に改訂版を作成。

③ドナーから同意書を得る際、第三者(弁護士等)の立ち会いをすることを検討。

④全国の骨髄移植に伴う事故について再調査をする。

⑤十一月に開かれる臨床血液学会で、駒込病院に詳細な報告をしよう。

⑥ドナー補償のための団体傷害保険を五千万円から一億円に引き上げる。

専門医はどうみるか

▼「神経原性ショックが原因では、あいまい過ぎる。もっときちんとした調査が必要だ」と専門医が十分な監視の下で行えば、何かのミスのない限り、こうした事故が起こることはまずない。――新潟大学医学部・下地恒毅教授(麻酔学)――八月六日付「新潟日報」

▼「聖マリアンナ医科大学麻酔科教授・青木正先生「骨髄移植で全身麻酔が選ばれるのは、循環の変動が少なく、呼吸管理が行い易いからです。ドナーがうつぶせになるため局所麻酔ですと、呼吸・循環に異常をきたした時、管理しにくい。」

又、脊椎麻酔や短時間の多量の骨髄液採取による著しい血圧低下はあり得ることですが、ショックは防ぎ得るし、こうした事故を起こしてはならないと思います。」

都道府県別登録者数 (8月末現在)

都道府県	登録者数
北海道	989
青森県	500
岩手県	333
宮城県	399
秋田県	253
山形県	304
福島県	180
茨城県	654
栃木県	159
群馬県	154
埼玉県	352
千葉県	354
東京都	2,634
新潟県	4,590
富山県	252
石川県	447
福井県	831
山梨県	317
長野県	488
岐阜県	173
静岡県	953
愛知県	383
三重県	394
滋賀県	1,507
京都府	86
大阪府	134
兵庫県	329
奈良県	670
和歌山県	306
徳島県	85
香川県	43
愛媛県	23
高知県	49
福岡県	306
佐賀県	537
長門県	130
山口県	1,045
徳島県	24
香川県	45
高知県	53
福岡県	63
佐賀県	185
長門県	399
山口県	45
徳島県	99
香川県	48
高知県	30
福岡県	55
佐賀県	70
長門県	25
山口県	751
合計	11,374

平成4年7月9日

厚生省 保健医療局 疾病対策課
課長 澤 宏 紀 殿

全国骨髄バンク推進連絡協議会
運営委員長 宮戸 征 美

骨髄採取中の事故発表と今後の安全対策についてのお願ひ

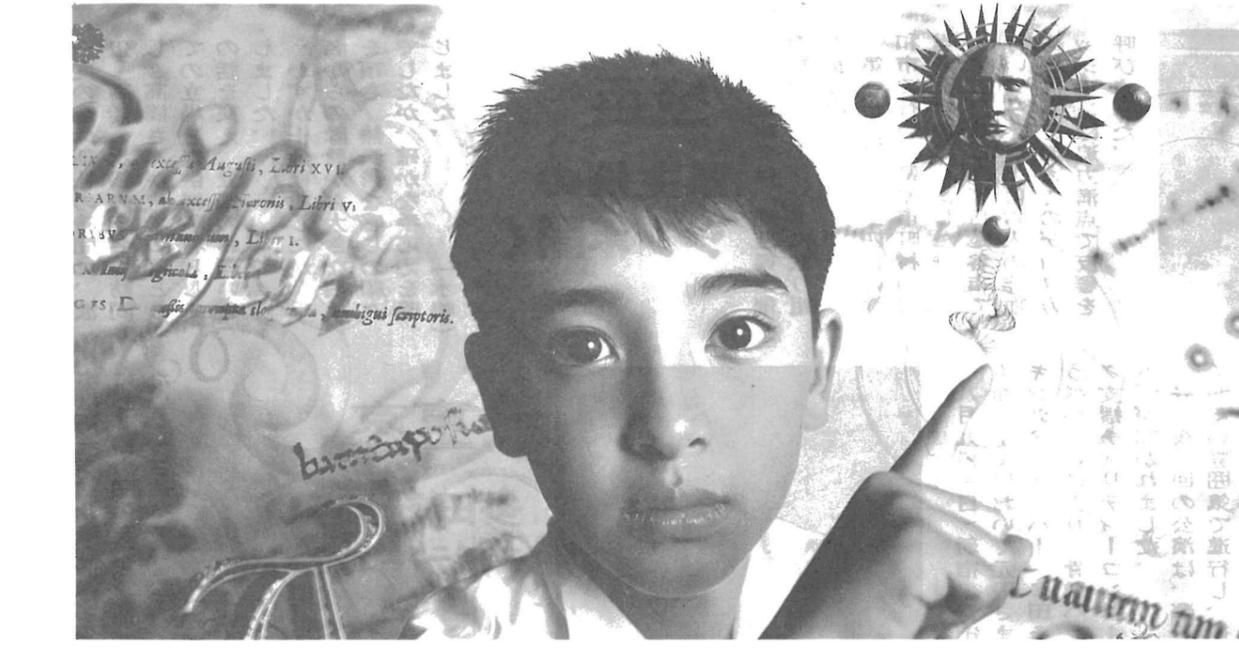
貴職におかれましては、骨髄バンクの推進にご尽力を賜り感謝申し上げます。さて、今後の骨髄バンク事業の推進に、はなはだ心配な事例を聞きおびましたので、下記について善処下さいますようお願い申し上げます。

記

- 東京都内の病院における血縁者間骨髄移植において、骨髄採取中に提供者に大変重大な事故があったと聞いておりますが、事故原因・経過・内容等についてその詳細を公表して下さい。又は、公表するよう指導して下さい。
- 今後、同様の事故を発生させないために、関係医療機関・学会等にその安全対策について指導して下さい。特に、骨髄バンク事業における非血縁者骨髄提供にあつては、善意の提供者の安全を第一にした採取マニュアルの設定・採取医療機関の指定等において、重ねて万全な対策をお願い致します。

本事例の公表は、現在開始されたばかりの公的骨髄バンク事業に多大の減速要因となることは明らかですが、長期的に多くの国民に支持された骨髄バンクを目指すためには乗り越えなければならない試練と考えますので、勇気あるご英断をお願い申し上げます。

以上



あなたに、
情報のちから。

驚くような事実も、社会を大きく変えるような発明・発見も、そこに心を動かされる人がいなければ、きつと世界の片隅に埋もれていってしまう。語り継ぐ人がいて、形にする人がいて、事実は始めて情報になる。そして遙か未来を超えて出会い、つながり、新たな進化を遂げる。歴史は、情報の物語。私たちは、そこに何をみだし、どのような形にして、次の世代へ語り継いでゆけばいいのだろうか。NTTグループは電気通信の技術とノウハウをベースに、様々な産業分野に多様な事業を展開しています。あなたが求める情報のちからを、あなたが求めるシーンに。未来へ語り継ぐべき物語を確実に形にしていけます。

NTTグループ

心からのご寄付を ありがとうございました

6月15日～8月31日まで

松崎隆子	テレカ	1,000
日本聖交会		10,000
匿名	図書券	200
亀崎時子		2,000
小原恵子	切手	620
ヤマジレイコ		10,000
陽田卓子		20,000
村島葉子		10,000
ライオンクラブ主催シンポジウム		5,065,000
飯田 晃	切手	6,200
シキモリヒロシ		2,000
金子美也子		3,000
福崎のり子		3,000
ワダツトム		50,000
阿原一良		10,000
小原恵子	切手	620
飯田和子		20,000
匿名	切手	4,224
ヒダシンイチロウ		940,000
小原恵子	切手	620
土屋 信		200,000
武居房子		5,000
国本由利子		12,000
阿原一良		10,000
斉藤利子		20,000
シキモリヒロシ		2,000
多田そうべい		
チャリティコンサートより		188,885

(順不同 敬称略)



全国協議会加盟の各地団体

第一回 ボランティアセミナー ドナー事故に議論集中 全国各地から三五名が参加

真夏の青空の下・・・と言いたところですが、8月8日は台風の影響で信州菅平高原は雨模様、九州に上陸して山口県辺りにさしかかったのが午後2時、第1回ボランティアセミナーの集合時間でありました。そこは菅平コスモス村の「スカディ」、オーナーは「お母さん、笑顔をありがとう！」の真木ちゃんのお母さんである国本さんのペンションです。



菅平セミナー宣言 (1992.8.9)

私達、全国骨髄バンク推進連絡協議会のボランティア有志は、公的骨髄バンクのスタートを期し、平成4年8月8・9日ここ菅平に集まり、セミナーを開催した。不幸にも、このセミナーの前に、骨髄移植による事故の報道に接し、2日間にわたり活発な議論を展開し、次の事について宣言し、「菅平セミナー宣言」とする。

1. 今回の事故についての詳細な経過(事故原因・対応等)報告を関係機関に求める。
2. 次の事を調査、公表するよう厚生省・関係学会に申し入れる。
イ. 麻酔事故の実数について
ロ. 白血病等の患者発生数と、骨髄移植の症例数等について
3. 国民に信頼される骨髄バンクシステムとするために、次の事を厚生省・(財)骨髄移植推進財団に要望する。
イ. 最終コーディネーションでは、弁護士等の立ち合いを義務付け、更に初期コーディネーションの段階からドナー代弁者が立ち合い、相談の出来るシステムとする事。
ロ. 善意のドナーの安全確保のため、骨髄採取病院の基準等を再検討する事。
4. 全国骨髄バンク推進連絡協議会は、緊急に公開討論会の開催をよびかける。

「余りにも衝撃的だ」「麻酔事故の実態を明らかにして欲しい」「これからドナー登録を呼びかける勇気がない」「いや今から反響が出るべきだ」と本当に真摯な議論が各テーブルで百出しました。

夕食後、懇親会になったところで大阪から東海バンク移植患者の橋本和浩君と刀根麻理子さんも到着。皆さん潤滑油が入って意外な素顔を見せていたり、同じ想いは持つもの、いつもは離れているメンバーが親交を温め合いました。深夜になって、名古屋の二人組も駆けつけ、更に大きな盛り上がりを見せる頃、台風が近付いたのか菅平の緑は大きく

(野村)

近畿 財団との共催 シンポ開く



八月一日、大阪府社会福祉指導センターで、「骨髄バンク近畿シンポジウム」を二府四県三政令都市その他39団体の後援と二三〇名の参加者を得て開催することが出来ました。

秋田では、県に対して再三のお願いをした結果、リーフレット・パンフレットを作成していただくこととなりました。内容は財団のものと同じですが、秋田県及び県内の保健所の連絡先が明記された、二千部のリーフレット・パンフレットが、市町村窓口・病院・保健所等に設置されています。近々、保健所職員・保健婦向けに学習会を行う予定です。(管)

神奈川 自衛隊久里浜 学校でPR

神奈川連絡会は、大谷さんの努力で実現した陸上自衛隊久里浜通信学校でPR活動を

秋田 県がパンフと リーフを作成

秋田では、県に対して再三のお願いをした結果、リーフレット・パンフレットを作成していただくこととなりました。内容は財団のものと同じですが、秋田県及び県内の保健所の連絡先が明記された、二千部のリーフレット・パンフレットが、市町村窓口・病院・保健所等に設置されています。近々、保健所職員・保健婦向けに学習会を行う予定です。(管)



必要がある様な気が致します。私達は他の組織(団体)を動かすための仲介者になれるのではないかと思います。しかし、それは自ら活動をするよりも困難なこともかもしれません。(藤岡)

埼玉 県主催の シンポ開く

埼玉連絡会は、埼玉県主催の初のリーゼンシンポに取り組みました。

第一日は七月二十四日に浦和市で行い、県や市町村の担当者を対象にしました。

第二日は、翌日越谷市で行い、パネラーに六人の非血液提供者を揃えてのディスカッションは迫力満点で反響を呼びました。

行いました。

八月三日、朝八時から月一度の全体朝礼の時間に、渡辺・高橋・水嶋の三名で訪問し、高橋さんが患者の親としての立場と提供経験者としての話を交え、登録のお願いをしました。

わずか十分程でしたが、千名からの隊員から大きな拍手を頂き、無表情な感じの顔々でしたが、確かな手応えを感じました。(水嶋)

東京 多田そうべい チャリティーコンサート



行政との連携に力を注いで来た秋山会長は「今回のシンポは第一歩。今後も連携を密にして協力関係を築いていきたい。」と述べています。(笠原)



八月九日(日)新宿・安田生命ホールにおいて元殿さまキングスのメンバー、多田そうべい氏らにより「骨髄バンク支援チャリティーコンサート」が開かれました。

昼・夜二回の公演は、楽しく明るい雰囲気で行われ、途中、多田氏・元殿さまメンバーの宮路おさむ氏による骨髄バンク支援の熱いアピールがありました。

昨年に引き続き、今回もこのコンサートを後援した全国協議会に純益金の一部が寄付されました。(中野)

「大学とボランティア活動」
早大で第一回バンクシンポ

10/8(木) Pm 2:00 早稲田大学・大隈講堂